

NEWS LETTER KUMAMOTO

2017.Summer Vol. 113

■発行:一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団

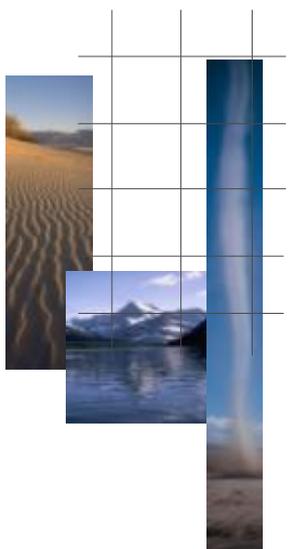
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館

■Publisher: Kumamoto International Foundation

4-18 hanabata-cho, chuouku, kumamoto city, 860-0806

TEL:096-359-2121/ FAX:096-359-5783

e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp URL:http://www.kumamoto-if.or.jp/



東区くらしのほんごくらぶ

スタートしました!



文化庁・地域日本語教育スタートアッププログラムの活用

そこで、閉鎖となった「健軍教室」の代わりに、東区に日本語教室を新設するため、KIF では6月に文化庁の地域日本語教育スタートアッププログラム事業に申請、採択され、プロジェクトが始動しました。

文化庁・地域日本語教育スタートアッププログラムとは、各地の日本語学習環境の整備・日本語教育の推進を目的に、日本語教室がない空白地域に、日本語教育の専門家（アドバイザー）の支援の下、日本語教室を設置することを目指すものです。平成28年8月、当該アドバイザー・日本語教師・熊本県立大学・熊本大学・大阪大学・横浜国立大学と協力し、熊本地震での外国人被災者に関する調査・視察・分析を行い、10月、多文化共生社会の拠点となり災害時にも支え合える関係づくりを目標にした地域日本語教室の開設に向け、に正式に今回のプロジェクトチームが動き始めました。平成29年度の日本語教室新設に向け、教室の目的や活動内容、具体的な開催日時や会場についてなど、新しく日本語教室を立ち上げるにあたり検討しなければならない事項は多く、綿密な話し合いを重ねました。



新設するに至った経緯

昨年4月に起きた熊本地震では、当事業団(以下、KIF という)が運営していた各日本語教室は、全ての教室で、約1ヶ月の一時活動停止を余儀なくされました。その間、各教室のボランティアと外国人学習者がお互いに協力して安否確認や情報の多言語化を行うなど、日頃のつながりが活かされました。

特に最大震度7を観測した益城町に隣接する東区で開催していた「健軍教室」は建物が被災し、閉鎖に追い込まれました。他の日本語教室は、震災から1ヶ月ほどで活動を再開することができましたが、「健軍教室」は教室再開のめどが立たない状況でした。そんな中、「健軍教室」の外国人学習者から「また日本語教室に行きたい。〇〇さん(ボランティア)に会いたい。」と声があがりました。誰もが未曾有の大地震に混乱し、不安定な生活を送る中、「以前のように、また教室で日本語の勉強を続けたい」という言葉から、普段の生活が如何に大切であるか、また、その中で日本語教室が重要な役割を持っていたことを痛感しました。

《特集》

東区くらしのほんごくらぶスタートしました！
スタートアッププログラム活動報告・・・P1～P3

くらしのほんごくらぶ紹介・・・P4
・国際交流会館くらしのほんごくらぶ
・武蔵ヶ丘教室
・健軍教室

KIF これから秋にかけてのイベント紹介・・・P5

目次

Contents

ちょっといわせてはいよ！
「熊本県在住華人・華僑の「実家」」
熊本・華親会・・・P6
世界を知る～It know the world～・・・P7
・「自分の“普通”を変える」
青年海外協力隊OB 田嶋 駿樹(たしま としき)さん
ちょっと日本語/きふプロ
平成29年度賛助会員・・・P8